

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 6 年度第 4 回ふじみ野市文化振興審議会			
開催日時		令和 7 年 2 月 4 日（火） 開会時刻 午後 5 時 4 5 分 閉会時刻 午後 8 時 0 0 分			
開催場所		上福岡西公民館 ホール			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		会長	伊藤裕夫	委員	古田土勝市
		副会長	進藤美奈子	委員	小林浩
		委員	大井田かおり	委員	田中義則
		委員	渡辺行野	委員	尾澤景子
会議の議題		(1) 上福岡西公民館の基本設計について (2) 令和 7 年度文化芸術企画提案型委託事業及び未来 応援事業について (3) その他			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由					
傍聴人の数		0 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		市民活動推進部 文化・スポーツ振興課			
議事の確定	確定年月日	令和 7 年 2 月 1 7 日			
	記名押印 又は署名	役職名 会長 伊藤 裕夫 ㊟			

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	会議に先立ち、上福岡西公民館の施設見学
	開会
	(議事1)
事務局	資料に基づき説明
伊藤会長	事務局より上福岡西公民館の基本設計について説明があったが、資料に沿って順に意見を伺いたい。まずは施設の外観や駐車場についていかがか。
小林委員	駐車場に入る際に通る県道は、東武東上線の踏切が近くいつも混雑している。裏側の一方通行の道からも駐車場に出入りできないか。
事務局	裏の道に駐車場の出入口を設ける予定はない。駐車台数を増やす方法としては、近隣の土地購入などもひとつの方法と考えている。現在も市で近隣の駐車場を数台借りている。
進藤副会長	周辺に民間駐車場が多くあるので、車利用者は安い場所や空いている場所を探して利用してきた。台数を増やす必要はないが、施設側で近隣の民間駐車場を把握して案内できれば良いのではないか。
古田土委員	館内を見学したところ、意外とモダンな雰囲気。改修後は若い方の利用も増えるのではないかと期待している。
大井田委員	上福岡西公民館は災害時の避難所として指定されているか。避難所開設時はどの部屋を使用しているのか。
事務局	地域防災拠点の指定避難所となっており、まず和室を開放する。避難所としての設備として、必要な部屋を優先し自家発電設備を整備する予定。併せて文化施設両館と同等に、水道がとまった時にも流せるトイレを整備する。 東日本大震災の際、ふじみ野駅から近い産業文化センターに帰

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	宅困難者が集まった。上福岡駅を利用する帰宅困難者が上福岡西公民館に集まることも想定して整備を進めていく。
伊藤会長	1階について意見はあるか。
事務局	現在の利用者からピクチャーレールは使用しづらいという意見が多くあり、ギャラリーの壁を有孔ボードとする。加えて、階段の踊り場なども展示に活用できる仕様にする。
尾澤委員	ピクチャーレールは、確かに高齢者にとっては危ない、利用しづらいと感じるだろうが、現在利用していない若い方にも魅力を感じてもらえるように、バランスよく施設を整備してほしい。 図書室のカウンターは現在の事務室の並びになるのか。
事務局	そうなる。 利用者から文化施設の指定管理者の対応が冷たく感じるという意見があったが、公民館は改修によって事務室兼相談室の機能を高める考えで、市の社会教育主事を配置することも検討している。事務室内に文化協会の相談スペースを設けるといったことも踏まえ、利用者の活動の輪が広がる施設にすることを検討していく。
伊藤会長	小規模な施設となるので、運営にボランティアが入っても良い。施設の貸し出しだけでなく、運営ボランティアが利用できる打ち合わせスペースの確保が必要。
進藤副会長	新しくなった施設で働く人や利用者が困らないように、現在の公民館職員からきちんと引継ぎを行ってあげて欲しい。
伊藤会長	2階についてはいかがか。 和室は地袋がなくなることで、広く使いやすくなるのでは。
尾澤委員	地袋が無くなると、窓の高さはどうなるか。
事務局	地袋がなくなった分、窓が広がるので、障子を設ける予定。和

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	室はヨガや軽体操での利用もあり、さまざまな団体の利用に配慮し整備したい。和室については、ほかに利用者から炉を2つにしてほしいと要望が寄せられている。
伊藤会長	現在の炉の数は1つで、2つに増やすということか。
尾澤委員	2つ同時に使用する機会はほとんどない。あっても年に数回。炉を増やすくらいなら、市内に茶室を作って欲しい。
伊藤会長	2階東側のバルコニーだが、開閉できる屋根を設置すれば使い勝手が良くなり、バルコニーを活用した一体的な催しも考えられる。部屋を通らずに廊下から直接バルコニーに出られると良い。
事務局	バルコニーを活用できるよう、手すりの高さを上げて落下防止策を施したい。
田中委員	集会室の床材はどうなるか。
事務局	ダンス等でも使いやすいクッション性のある素材を考えている。ステラ・ウェストのスタジオCのような素材。
尾澤委員	ステラ・ウェストのスタジオCは靴を脱いで利用するが、公民館ではどうするのか。
事務局	調理室も含めて、必要に応じて運用を変えて良いと考えている。ステラ・イースト、ウェストにおいては、小さい子どもが座って利用するのではと下足を脱いで利用する施設にした。どちらの運用になっても対応できる床材にする。
進藤副会長	調理室はステラ・イースト、ウェスト共に課題がある。両館の実態を踏まえて、新しい文化施設ではうまく解決してほしい。
伊藤会長	現在上福岡西公民館やステラ・イースト、ウェストで調理室やキッチンスタジオを使った多文化共生事業は行われているか。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	現在はサークルが中心になった多文化共生活動は行われていない。コロナ以降、地域のクリスマスパーティーなど、調理室やキッチンスタジオを利用した催しが圧倒的に減っている。ステラ・ウェストのキッチンスタジオは、最近近隣の自治組織がお茶会で活用するようになった。
伊藤会長	調理室は、使い方によっては面白く、若い人も活用できる場となる。施設側が使い方を提案する企画を実施すると良い。 今後、指定管理者宛ての業務仕様書に、施設のフレキシブルな活用を求めて良いのでは。
進藤副会長	キッチンスタジオは、一度使った人のリピート率は高い。そば打ちの道具などさまざまな設備があるので、ぜひ市民が利用する機会を増やして欲しい。
事務局	2階学習室は展示での利用率も高いので、壁を有孔ボードにし、また、2部屋をつなげて使えるようにする。
伊藤会長	ホールについての意見はいかがか。
事務局	二重扉を設置するために、ロビーが約10㎡狭くなる。ホールを使った催しでの受付などの運用がしづらくなる可能性がある。 可動式の座席はなるべく広い座面を採用し、椅子同士の間隔を持たせて配置する。席数は若干減ってしまうが、極力座り心地の良い椅子を選ぶ。また、階段の移動に不安を感じる利用者が多いため、約200万円かけて特注の手すりを追加する。
伊藤会長	既にステラ・ウェストを整備し、ことし秋にステラ・イーストのホールがリニューアルオープンする。公民館のホールにはどれだけの需要があるのか。これまで使用していた人が現在の施設にこだわる気持ちはわかるが、どこまで設備にこだわるか、今後10年間の利用方法や需要を予想して検討すべき。人口11万人の市に座席のあるホールが4つあることは、大変贅沢なこと。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	上福岡西公民館は他の公共施設と比較して利用料金が安く、これまでの利用者からは、現状の機能水準を維持することには強い要望がある。
伊藤会長	ふじみ野市にはブラックボックス型（観客席や舞台の配置を自由に変更できる劇場）のホールがない。似たホールを増やすのではなく、同様ではない施設を整備する方が良い。
事務局	現在の利用者からホールに関して「反響板がほしい」「音を吸収するので絨毯はやめてほしい」「座席数を増やしてほしい」という要望がある。委員各位に伺いたい、ホールに反響版は必要か。
伊藤会長	この規模のホールに反響板はいらない。絨毯は音を吸収してしまうので、確かにやめた方が良い。
事務局	現在市内に太鼓の団体が5団体あるが、公共施設に練習できる場所がないことが課題となっている。体育館では音漏れしてしまうので、現在はこの地下ホールが太鼓の練習利用場所として重宝され、各団体が今回の整備にかなり期待している。
伊藤会長	音漏れしにくい地下ホールは太鼓の練習に適している。
古田土委員	反響板はなくて良い。ブラックボックス型で全体が響く施設にすれば特に不要。 現在は舞台袖に袖幕がたくさんあり、これも音を吸収してしまうのでやめるべき。
事務局	利用状況は不明だが、現在も公民館に可動式の反響板がある。新しく同様の反響板を整備すると、約1000万円かかる。
古田土委員	ブラックボックス型にして、固定のステージを不要にすれば良い。
事務局	ステージがなくなると、このホールを踊りで利用している人からの意見があると思われる。未来志向で施設を整備したいが、

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	現在活動している団体が整備によって活動を止めてしまわないようにしたい。
進藤副会長	ステージが上下するようにできないか。
事務局	検討したが、地下であるため構造上難しい。
進藤副会長	ブラックボックス型はとても良いと思う。施設の設備やクオリティを求める人は、ステラ・イースト、ウェストを活用してもらえば良い。
小林委員	日本では戦後、音楽室などで音の遮断性が重要視され、壁に穴、床には絨毯、というのが一般的だった。このホールにも音を吸収する素材が多い。ステラ・イーストでコーラス練習をする際、音楽スタジオよりミーティングルームの方が音の響きが良い。音漏れ防止と室内での反響は、現在の技術で両立できないか。ホール内の響きは非常に重要。反響板は必要ないが、部屋自体が響くように整備してはどうか。さまざまな団体が使用するため全ての要望を叶えることは難しいが、ブラックボックス型で利便性の良いホールになれば、これまで利用していない層の利用や、利用頻度も高まるだろう。 また、建物全体で階段の傾斜を緩和する工夫に期待している。エレベーターは改修後には速くなるか。
事務局	改修のため、エレベーターの構造そのものは変更できない。現在のような停止時の衝撃がなくなるなど快適にはなるが、速度はあまり変わらない。
田中委員	ホールの二重扉は、ステラ・ウェストのスタジオのようにとても重い扉にすれば1つでも良いのではないか。
古田土委員	扉同士の中の空間が音を吸収するので、二重扉は各段に遮音性が高い。ロビーの広さを確保するため、ホールの扉と離れた場所に2つ目の扉を置いてはどうか。 太鼓の利用団体が使用するのであれば、防音性を重視して整備した方が良い。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
進藤副会長	改修後の座席数は１５２席でホールとしては小規模。ロビーは広くなくて良いのでは。 防音性についてはステラ・イーストの音楽スタジオのように完成してみたら、ということもある。よく調査して欲しい。
事務局	現在のモニター室を改修して楽屋にし、大・小２部屋になる。
進藤副会長	ホールの規模に対して非常に手厚い設備。ホールのキャパシティが広がらないので、あまり気にしなくても良いのでは。
事務局	施設の改修にあたって、設備をなくす、減らすのではなく、よりよくする方針になっている。公民館の改修には約２０億円かかる見込み。ステラ・イーストは約３０億円、ステラ・ウェストは約８０億円だった。
進藤副会長	椅子が上質になるので、ホールとしての格はあがる。発表会利用であれば、舞台設備のクオリティはそこまで上げなくても良いのではないか。クオリティの高い舞台は、すでにステラ・イースト、ウェストがある。
渡辺委員	公民館整備後の料金体系はいかがか。
事務局	地下ホールは現在１コマ３～４時間で１３００円～１９００円。公民館の料金から文化施設の料金に移行した際に、２倍以上変えてはいけないという縛りができたため、なかなか上げられない。
進藤副会長	場所の利便性が高く、練習場としての需要もある。改修後は都内などから利用する人も増えると思われる。
伊藤会長	公民館ホールは練習や発表会の場所、華やかな催しはステラ・イースト、ウェストのホールにするなどと住み分けして検討が必要。
古田土委員	反響板はいらないので、舞台をさまざまな形でうまく活用でき

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	るような工夫をしてほしい。 事務局 さまざまなご意見があり、あるものが無くなるというのは難しい。緞帳はつける予定。 尾澤委員 この規模の舞台に緞帳は不要ではないか。今の若い世代の方に後悔させないように、何が必要か不要かを十分検討してほしい。 事務局 現在の基本設計では設備を最大限に入れている。今後実施設計の中で判断を重ねる。 田中委員 ステラ・イースト、ウェストにはない団体連絡室が図面に載っている。公民館の機能を残し、利用団体の部屋を残す考え方か。 事務局 図面では室名を団体連絡室と記載しているが、運用については今後の課題になる。現状は部屋をきれいにする方向でのみ考えている。 田中委員 将来的になくなるのか。 事務局 今後サークル団体をどうしていくのかも含めての課題となる。現在は教育委員会で、サークル団体と社会教育団体を区別していないので、その垣根の整理が必要である。これまでご活躍されていた方たちへの優先対応などをどのようにしていくのか、本審議会でも継続して検討いただきたい。 伊藤会長 現段階では施設のハード面での意見を審議し、運用面については将来の課題となる。 事務局 (議事2) 資料に基づき説明 伊藤会長 まずは文化芸術企画提案型委託事業のステラ・イースト及びウェストホール活用プロジェクトについて意見を伺いたい。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
事務局	令和４～６年度は委託上限金額１件当たり１１０万円で募集を行った。令和７年度はステラ・イーストホールのリニューアルオープンにあたってウェストは１１０万円で公募枠と文化協会枠の各１枠、イーストは４４万円で公募のみ２枠にする案としている。同じ予算の範囲でウェストの委託上限金額を各８８万円にし、イーストを３枠に増やすことも考えた。
伊藤会長	過去の応募件数は。
事務局	令和４年度は３枠の募集に４件の申請、令和５年度は３枠に８件の申請。令和６年度は２枠に最終的には４件の申請だが、募集当初の申請は２件、うち１件のみが採択となったため追加募集を実施し、追加募集の１枠に対して２件の申請があった形。
伊藤会長	できれば多くの企画を審査し、その中からより良い案を採択したい。枠を増やすと申請件数が下回ってしまう懸念がある。
渡辺委員	以前の審議会でも意見があったが、必要な方に募集の情報が届いていない。公募枠は、ウェスト１件、イースト２件のままで良いと思うが、金額差の根拠は。
事務局	各館の施設利用料金及び席数に応じて積算した。
古田土委員	事業の実施期間が令和７年度末までとなっているが、２年度にわたっての実施は難しいか。しっかりしたホール事業をするには時間が足りないのでは。
事務局	令和５年度までは５月中旬～下旬に採択事業を決定していたが、令和６年度から３月末に決定するようスケジュールを変更した。令和７年度の実施者の意見を聞き、実施期間が短いということであれば次回令和８年度の募集に向けて再検討したい。また、通算３回までの要件を削除する予定。令和６年度までに３回委託を受けた団体があるが、恐らく令和７年度も申請があると考えている。
進藤副会長	当該企画は、委託を受けずに自立できる収入を確保できると思

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
	う。こうした団体には自立してもらい、他の企画に予算を使った方が良くはないか。
伊藤会長	昨年度の申請時にも、企画内容が特に市民企画らしい工夫があるような公演ではないことが課題になったが、応募件数が少なく採択となった。
進藤副会長	回数の要件削除は仕方がないが、審査において複数回採択されている団体とそうでない団体との差を設けるべき。
渡辺委員	募集要領に注意書きを載せるなど、申請時に申請側にも分かる形にしてほしい。
伊藤会長	いずれの企画も単なる演奏会ではない要素を取り入れるよう、募集段階で打ち出した方が良く。
事務局	通算３回までの要件を削除する代わりに、採点項目を再検討する。採点項目は実施要領にも掲載し、申請者にも事前にわかるようにする。
伊藤会長	募集要件を緩和することで、どの程度応募件数が増えるか様子をみたい。
事務局	ステラ・イーストの４４万円の金額設定についてはいかがか。
進藤副会長	チケット代も実施者の収入になる。イーストホールの席数は３２２席で、派手な舞台を行うようなホールではないので妥当だと考える。
伊藤会長	アートに触れようプロジェクト、街中に音色が響くプロジェクトへの意見はあるか。
事務局	令和７年度の募集にあたって、街中に音色が響くプロジェクトの委託上限金額を１１万円に引き上げ、アートに触れようプロジェクトと同額にした。

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
進藤副会長	街中に音色が響くプロジェクトの委託上限金額が上がったのは良いと思う。実施者側の視点では、これまでの金額では出演人数が限られていた。
伊藤会長	両プロジェクトとも、対象者がアーティストとはっきり書いてあり良いと思う。以前は解釈の幅があり複雑な表記だった。街中に音色が響くプロジェクトは、実施場所が市内の公共施設に限定されているが、民間施設で実施できないか。
事務局	民間施設は公共施設より高額な使用料がかかるため、公共施設に限定した。
伊藤会長	有料施設に限らず、空き店舗や公園、河原、URの敷地などの民間施設を活用した企画があったら面白いのではないか。
事務局	屋外の場合は雨天時のバックアップをする難しさがあるが、過去にはアートフェスタふじみ野でショッピングセンターソヨカふじみ野（現トナリエふじみ野）に協力いただいた。旧大井村役場や福岡河岸記念館など、文化財でもコンサートを実施し、いずれも参加者の反応はとても良い。
古田土委員	市内の公園でコンサートを開催することは問題ないか。
事務局	公園の所管は公園緑地課だが、問題ない。
伊藤会長	ふじみ野市内に野外ステージのある公園はあるか。
事務局	野外ステージはない。産業まつり、おおい祭りなどではステージを設置して催しを行っている。公園で音を出して活動しているのは、把握しているものだとラジオ体操のみ。
尾澤委員	アートに触れようプロジェクトについて、ステラ・イースト、ウェストの部屋がDIYルーム、キッチンスタジオ、和室に限定されている。いずれの部屋も狭いので、街中に音色が響くプロジェクトと同様に公園などでも実施できるようにしてほしい。アートは天候に左右されづらいメリットがあり、市内をめ

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	ぐる体験型アートも企画提案できる。
伊藤会長	美術やアート体験を街中に拡大するのは面白い取り組みで、部屋の制限はない方がよい。 文化芸術活動未来応援事業について意見はあるか。
進藤副会長	令和6年度は対象者をアマチュア等にする制限があったが令和7年度はどうか。アマチュアではないが活動の場が少ない、若いアーティストなども活用できるのか。
事務局	企画提案型委託事業との区別を分かりやすくするために「アマチュア」という表記を用いた。補助金の主旨としては、自発的に外に向けた活動をできない方が活動を広げるステップとして活用してほしい。
尾澤委員	対象者がアマチュア等であるなら、申請書をもっとシンプルにしてほしい。
進藤副会長	企画内容と予算が分かれば審査できるのではないか。実施スケジュールなどは事前に書類を作るのではなく、打合せで調整すればよい。
伊藤会長	事務局案で進め、実施の状況をみて課題があれば今後の審議会で検討する。
事務局	各事業に多くの応募をいただき選定できるよう、ぜひ各委員からも関係団体への情報発信をお願いしたい。
伊藤会長	(議事3) 議事3その他について何かあるか
渡辺委員	令和6年度文化芸術企画提案型委託事業ホール活用プロジェクトに採択された「アートと人 つながる・つどう」の第一弾コンサート&ワークショップが、12月に無事終了した。 第二弾コンサート&シンポジウムは3月22日(土)にステラ・ウェストホールで開催する。参加型の合唱企画には進藤副会

発 言 者	議 題 ・ 発言内容 ・ 決定事項
進藤副会長	長、シンポジウムには文化・スポーツ振興課の協力もいただく。ぜひ委員各位にも観覧してほしい。 文化芸術活動地域支援事業地域文化クラブについて、１月２６日・２７日に青森県八戸市が視察に訪れた。 ２月９日（日）には、文化庁から地域文化クラブ活動推進事業の委託を受けている公益社団法人音楽創造が主催する「部活動地域移行／地域文化クラブシンポジウム」に登壇し、ふじみ野モデルとして発表する。
事務局	本市の部活動地域移行は、文化・スポーツ共に地域の皆さまのご協力のおかげで推進できている。
渡辺委員	ふじみ野市の地域文化クラブの取り組みは、文化庁でもかなり話題となっている。
進藤副会長	学校で現場指導にあたる先生にそれが届いていない現状もある。引き続き取り組んでいきたい。 次回審議会の開催時期 令和７年５月 閉会